

平成31年及び令和元年 業種別労働災害発生状況

平成31年(1月～12月末発生分)確定

小樽労働基準監督署 俱知安支署

区分	令和元年(確定)			平成30年(確定)			平成30年(確定)			対前年		業種割合
	死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	増減数	増減率	
全産業合計	1	114	115	1	133	134	1	133	134	-19	-14.2	100.0
除く鉱業計	1	114	115	1	133	134	1	133	134	-19	-14.2	100.0
製造業		17	17		16	16		16	16	1	6.3	14.8
内訳	食料品		12		14	14		14	14	-2	-14.3	10.4
	木材木製品				1	1		1	1	-1	-100.0	
	家具・装備									±0		
	紙・パルプ		2	2						2		1.7
	窯業・土石		1	1						1		0.9
	機械・金属									±0		
	その他		2	2		1	1		1	1	100.0	1.7
鉱業										±0		
土石採取業					1	1		1	1	-1	-100.0	
建設業		30	30	1	22	23	1	22	23	7	30.4	26.1
内訳	土木工事業		13	13		7	7		7	6	85.7	11.3
	建築工事業		15	15	1	8	9	1	8	9	66.7	13.0
	木造建築業		2	2		6	6		6	-4	-66.7	1.7
	その他					1	1		1	-1	-100.0	
道路貨物運送業		4	4		4	4		4	4	±0		3.5
その他の運輸業		2	2		2	2		2	2	±0		1.7
陸上貨物取扱業										±0		
港湾運送業										±0		
林業		3	3		7	7		7	7	-4	-57.1	2.6
漁業		2	2		3	3		3	3	-1	-33.3	1.7
商業	1	12	13		20	20		20	20	-7	-35.0	11.3
接客娯楽業		27	27		29	29		29	29	-2	-6.9	23.5
清掃業		3	3		4	4		4	4	-1	-25.0	2.6
その他の事業		14	14		25	25		25	25	-11	-44.0	12.2

本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。

俱知安支署の管轄は、後志管内のうち、俱知安町、神恵内村、泊村、共和町、岩内町、寿都町、島牧村、黒松内町、蘭越町、二セコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町です。

今月のコメント	<p>1 労働災害の動向 全産業の労働災害は前年に比べ19件の減少(-14%)となりました。死亡災害は2月に発生した1件(屋根の雪降ろし時の転落)でした。 業種別には建設業(26.1%)と接客娯楽業(リゾート施設等)(23.5%)の占める割合が高く、建設業が通年で発生しているのに対し、接客娯楽業は冬季に集中して発生しています。 外国人の労働災害が年々増加しており、過去最多の16件(技能実習1件)となりました。</p> <p>2 業種別動向 製造業(14件)の労働災害の多くを食料品製造業(12件)が占めており、岩内町(7件)(すべて水産食料品)と京極町(5件)が多発地域になっています。 建設業は前年から3割増し、2年連続の増加となりました。30件台になるのは9年ぶりのことです。 林業は2年連続で減少しました。また、林業の死亡災害は9年連続ゼロとなりました。</p> <p>3 事故の型(全産業) 「転倒」34件、「墜落、転落」18件、「はさまれ、巻き込まれ」12件、「動作の反動、無理な動作」12件、「激突され」9件、「飛来、落下」7件、「切れ、こすれ」6件、「交通事故」6件など。</p> <p>4 被災者の年齢 年齢の高い者の労働災害が多くなっており、特に建設業は顕著になっています。(カッコ内は建設業) 60代以上26人(9)、50代25人(9)、40代19人(4)、30代19人(4)、20代19人(3)、10代5人(1)。</p> <p>5 労働災害発生場所(管外を除く。カッコ内は建設業) 俱知安町53件(13)、岩内町12件、二セコ町8件(5)、京極町7件、喜茂別町7件(3)、留寿都村7件(1)、寿都町6件(2)、共和町3件(1)、蘭越町2件(2)、黒松内町2件(1)、島牧村2件、泊村1件(1)。</p>
---------	---